

上牧町学校適正化基本計画の策定に係る検討経緯について

町立小中学校の方針を決定するに当たっては、協議会において、通学方法等に関する意見も多く交わされてきましたが、最終的には立地的な観点・地勢的な観点に基づいて存続する校舎が決定されました。主な経緯は以下のとおりです。

●第2回会議（令和2年（2020年）12月開催）

上牧第二中学校において既に発現している課題等を踏まえ、中学校の緊急性が高いという観点から「中学校を1校に統合する」という方向性が決定されました。このことを踏まえ、今後、上牧中学校舎と上牧第二中学校舎のどちらを使用するのかを協議・決定し、その後に小学校の統廃合について議論していくこととなりました。

●第6回会議（令和3年（2021年）7月開催）

立地的な観点（上牧第二中学校よりも町の中央付近に立地していることから、通学面において一定の公平性が担保できること）及び将来的な体制に関する観点（年少人口の減少に伴って最終的に小・中ともに1校となった際、施設隣接型として上牧小学校と義務教育学校又は小中一貫校の体制を構築できる可能性を残すことができること）から、「使用する校舎は上牧中学校とする」という方向性が決定されました。また、同会議において、小学校に関しては、仮に校区編制をして現行の3校を維持したとしても小規模化は避けられないという推計結果等に基づき、「校区編制も視野に入れて現行の3校を2校に統廃合する」という方向性が決定されました。

●第7回会議（令和3年（2021年）8月開催）

令和3年（2021年）6月に実施したアンケート調査（上牧町立小・中学校のあり方に関する意識調査）に関する集計結果を確認し、第6回会議以前の決定事項に関して再確認されました。

●第8回会議（令和3年（2021年）10月開催）

小学校の統廃合に関して、上牧中学校に隣接する上牧小学校を存続するという方向性は有力であるとの認識はあるものの、残る1校を決定するに当たっては、通学面・施設面（財政面を含む）等の考慮すべき項目が多く、判断が難しいという意見があり、次回の会議において事務局から案を提示することとなりました。

●第9回会議（令和3年（2021年）11月開催）

事務局から案（住宅開発等に伴う地勢的な観点から上牧第三小学校を存続する案）を提示し、それに対して議論されました。地理的な観点（町全体から見た立地）では上牧第二小学校、地勢的な観点では上牧第三小学校という意見が多くあり、計画素案をパブリックコメントにかけることを前提に、どちらの校名を計画素案に記載するか

の議論を次回へ持ち越すこととなりました。

●第10回会議（令和3年（2021年）12月開催）

「パブリックコメントの実施に当たっては、校名を伏せる」という意見もありましたが、「仮でも校名を示した方が意見をいただきやすい」「いただいた意見を踏まえて再度協議すればよい」という意見もあり、最終的には「上牧第三小学校を存続する案」としてパブリックコメントを実施することとなりました。

●第11回会議（令和4年（2022年）2月開催）

パブリックコメントでは17件の意見が寄せられ、「通学に関する不安」「上牧第二小・中学校の廃校に反対」という意見が多くありました。

パブリックコメントを踏まえた計画案の策定へ向けた議論の中で、「上牧第二小学校を存続させるべき」との意見もありましたが、「これまで会議の中で示されてきた数値（人口推計）や議論を覆すものではない」、「寄せられた意見に真摯に向き合い、次年度以降の体制（上牧町学校統合準備委員会）において対策をしっかりと考えていくこと」という趣旨の意見もあり、最終的には計画素案の方向性をもって「上牧町学校適正化基本計画（案）」とすることとなりました。

●第12回会議（令和4年（2022年）3月開催）

上牧町学校適正化協議会長から「上牧町学校適正化基本計画（案）」が提言されました。

※ 令和4年8月8日開催_第1回上牧町学校統合準備委員会資料「上牧町学校適正化事業について～これまでの経緯と今後の予定～」から抜粋